



富山県SDGs宣言実施状況報告書



2023年7月7日

企業・団体名 株式会社 源

代表者名 代表 四谷 英久

富山県SDGs宣言において宣言した取組みの実施状況について、下記の通り報告します。

記

1 取組み期間 令和 3年12月21日～令和5年3月31日

2 取組みの実施状況

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
1	【目標】 徹底した品質マネジメントにより安心・安全な食品を作り、地元食材を活用した富山の味を全国の食卓に届けます。
	【実施状況】 ・富山駅で販売しているおむすび屋では地元の食材(富山産のかまぼこ等)、や調味料(富山県産の醤油や庄川のゆず等)を使用し、作っています。
2	【目標】 バイオプラスチックや竹などの環境に配慮した素材の活用、省エネやCO2排出量削減に資する取り組みを通じて、事業活動による環境負荷削減に努めます。
	【実施状況】 ・廃棄される魚の骨や残身を産業廃棄物にするのではなく、富山県内の事業者へ回収してもらい魚の餌の原料としてリサイクルしています。 ・30年以上使用していた水銀灯の街灯をLED化にしました。
3	【目標】 伝統的な富山の味を継承しつつ、地元食材にこだわった新しい富山の名物を作り出し、地域の魅力発信・活性化に貢献するとともに、時代に即した商品づくりを目指します。
	【実施状況】 ・今までは消費期限が短いため、北海道や九州・沖縄の一部の人にお届けできなかった「ますのすし」でしたが昨年9月より冷凍ずし「REJYU」を全国販売を始めました。

※宣言日(ウェブサイト掲載日)から3か月に満たない場合は、翌年度からの報告となります。